

## 建築物の日常的災害に関する調査 その5

## 一けがに到った被害の内容一

	*1	*2	*3
正会員	内田祥哉	同 宇野英隆	同 直井英雄
	*4	*5	*5
同	鳥巢元太	同 宮本洋一	○同 石川哲男

## 1 表の説明

すでに示したように、全被害件数のなかで「けが」に到った件数の割合は、オフィスビルで6.9%、共同住宅で17.3%、個人住宅で33.2%である。ここでは、その「けが」に関する調査結果とその考察を、オフィスビルと住宅全体(性格の同一性から共同住宅と個人住宅をまとめた)について述べる。裏面の表は、けがの種類、けがをした身体部分、けがの程度(3段階に分けた)、起因部位(何らかの被害を人間に与える発端となった建築物の部位)、加害部位(最終的に人間に傷害を与えた建築物の部位)のそれぞれについて、その細項目別の度数、ならびにその細項目とけがの種類との関連を表にしたものである。なを表中の丸印の数は被調査者の解答の数を表わしたものであり、1件の事故に於てもけがの種類、けがをした身体部分、加害部位は、それぞれ1個づつとは限らない。

## 2 けがの種類について

このアンケートの総災害採集数は、オフィスビル962件、住宅全体912件でほぼ同数であるが、住宅全体の負傷事故の多さが目立つ。けがの種類は、オフィスビルでも住宅全体でも打ち身・こぶが最も多く、全体の約3割を占めている。以下、すり傷、切り傷と続き、更に住宅全体では、やけど、血まめ、はれ、内出血の多さが目につく。とげを刺した、爪をはがしたは、オフィスには全くみられず、住宅にのみ見られる。

## 3 けがをした身体部分

手・指、すね・ひざ・ふくらはぎのけがが、オフィスビル、住宅全体の両者を通じて最も多く、その種類は、打ち身・こぶ、すり傷、切り傷に多いことは、露出していることと、運動量の大きさなどから見て、うなずけるであろう。住宅全体では、手・指の血まめ、やけど、はれ、とげを刺したなど多く、頭、顔の打ち身・こぶが多く見られるのは、住宅の特徴である。オフィスビルでは、手・指、すね・ひざ・ふくらはぎに次いで足が多い。両者を通じて、首、胸・腹、背中、太腿のような、人体の突出していない部分や、露出していない部分は比較的けがが少ないのも表から読み取れる。

## 4 けがの程度について

治療しなかったと治療したか休まなかったは、ほとんど同程度であり、住宅全体で「治療しなかった一打ち身・こぶ」が他と比較して多く出て来たのが特に目につく。治療して休んだけがは、オフィスビルでは6件、住宅全体では13件であり、比率としては他の2つよりも大中に少ない。

## 5 起因部位について

オフィスビルでの起因部位は、階段・スロープが圧倒的に多く、最もけが被害を引き起こしやすい部位であることがあかる。その場合多けがの種類は、打ち身・こぶ、すり傷である。続いて家具・器具もけが被害を引き起こすことが多い。住宅全体に関して言えば、出入口・窓などのいわゆる開口部が起因部位の中で多く、関係するけがの種類も多種類にわたっているのは、開閉・通行などの運動が最も頻繁に行なわれているためであろう。又家具・器具が起因となってけが事故が多く発生しているのは、やけど、次いで打ち身・こぶに多く分布しているのを見ると、暖房・調理等における事故、又狭い所に置かれた家具等による事故が多いと思われる。次に階段が多いが、比率から言うとオフィスビルより大中に少ない。

## 6 加害部位について

加害部位は、ほとんどの場合起因部位と一致しているので、表を見てもわかるようにほぼ起因部位と同じような傾向を示している。天井・梁、手摺、エレベーター・エスカレーターが加害部位又は起因部位となっているけが被害は、きわめて少ない。

		けがの種類															
		すり傷	切り傷	裂傷	打ち身 こぶ	内出血	血まめ	やけど	おんご	骨折	はれ	つき指	爪をほ がした	とげを さした			
けがをした 身体部 が	頭		○	○	●●●●	○								○		●●●●	
	顔	○	○	○	●●●●											●●	
	首																
	肩腕	○	○	○	●●●●	●●										●●●●	
	手指	●●●●	●●●●	○	○	●●	●●●●	●●●●	●●			●●	○	○	○	○	●●●●
	胸腹				○	○											○
	背中	○			○												○
	腰尻	○			●●	●●											●●●●
	太腿				○												○
	おんこ	●●●●	○		●●●●	●●		○	○								●●●●
けがの 程度	足	○	○		○											○	
	か か	●●●●	○		●●●●	●●	○	○			○	○	○	○		●●●●	
	た た	○	○		○											○	
	の の	○	○		○											○	
起 因 部 位	床			○	●●●●	●●				○						●●●●	
	壁柱			○	●●●●	○										●●●●	
	天井・梁																
	出入口 窓など	○	○		○	○										○	
	手摺																
	階段・ スロープ	○	○	○	●●●●	●●		○								●●●●	
	エレベ ーター				○	○										○	
	郵便・ 郵便	○	○		○											○	
	床	○			●●●●	●●				○						●●●●	
	壁柱	○	○	○	○	○										○	
天井・梁																	
出入口 窓など	○	○	○	○	○										○		
手摺																	
階段・ スロープ	○	○	○	●●●●	●●		○								●●●●		
エレベ ーター				○	○										○		
郵便・ 郵便	○	○		○											○		

●……オフィスビル  
○……個人住宅  
○……共同住宅

\*1 東大教授・工博 \*2 千葉工大教授・工博  
\*3 東大大学院 \*4 竹中工務店 \*5 清水建設